

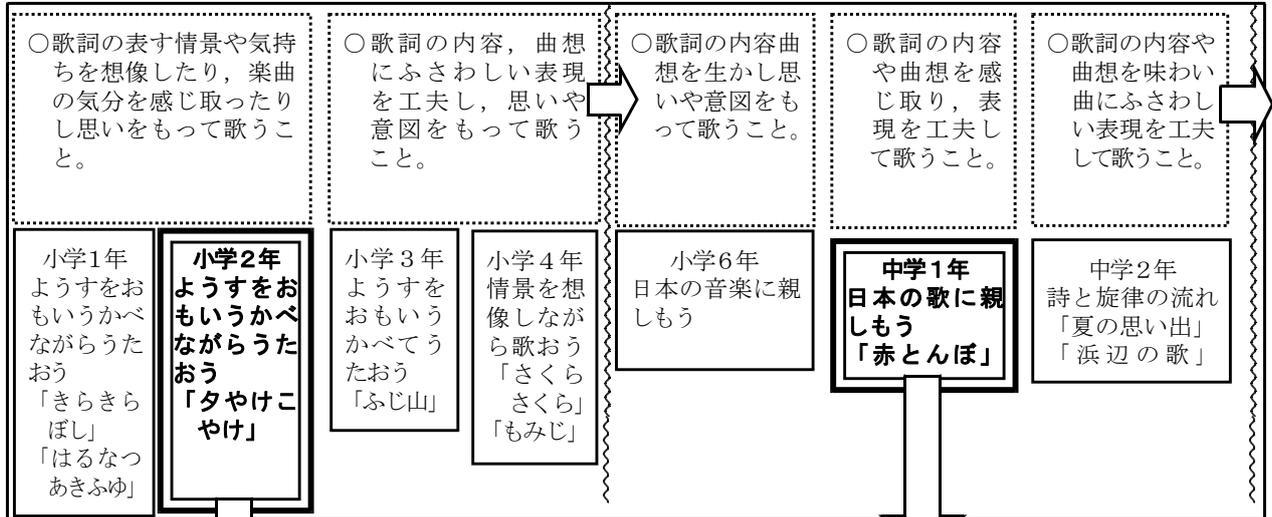
小学校第2学年・中学校第1学年 音楽科共通学習指導案

- 1 **題材名** 小学校第2学年…ようすをおもいうかべながらうたおう「夕やけこやけ」
中学校第1学年…日本の歌に親しもう「赤とんぼ」

2 **9か年の教科の到達目標**

○ 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。

3 **実践する題材の系統**



4 **題材目標**

小学校2年	中学校1年
<ul style="list-style-type: none"> ○ 歌詞の表す情景や気持ちの変化を想像しながら楽しんで歌おうとしている。 ○ 歌詞に合う絵や話し合いからイメージをふくらませ、歌い方を工夫することができる。 ○ 互いの声を聴き合い、唱法や速さなどを工夫して、歌うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歌詞や音楽の諸要素から感じ取った情景や雰囲気や雰囲気を創意工夫して表現しようとする。 ○ 音楽を形づくっている要素や、要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、表現することができる。 ○ 曲想を工夫して、表現することができる。

5 **児童生徒の実態**

児童の実態	生徒の実態
<ul style="list-style-type: none"> ○ 歌詞の内容と挿絵を結びつけて曲の気分を感じたり、歌声に強弱を工夫して歌ったりしてきた。 ○ 歌詞の内容と音楽の諸要素を結びつけて音楽を表現する際、自分の思いを言葉で伝え合う経験は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歌詞の表す情景や気持ちを、写真を見たり朗読したりすることで、豊かに想像し歌い方の工夫につなげる学習をしてきた。 ○ 感じ取った雰囲気や様子を表現に生かす際、音楽の諸要素との関わりを知覚し、感受したことを言葉で説明できるまでに至っていない。

6 **指導上の課題と手だて**

[課題]	[課題]
<ul style="list-style-type: none"> ○ よりよい表現を求めて、子ども達が自分の表現したことを振り返り、音楽表現の楽しさに気付く学習が充分確保されていない。 ○ 我が国で親しまれてきた日本の歌のよさにふれる機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師が予め用意したためあてで学習するため、生徒たちの主体的な表現活動への意欲を喚起しにくい。 ○ 我が国で親しまれてきた日本の歌のよさを味わい、深くふれる機会が少ない。
<p>[手だて]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 話し合っって決めた演奏の仕方について、情景画や縦書きの歌詞、拡大楽譜等をもとに学習を振り返らせ、表現の楽しさに気付かせる。 要約する (関連付ける) ○ 音楽的要素を変えて聴き比べる手法をとりながら、情景画や生活経験を手がかりに歌詞と様子と曲を結びつけ、日本の歌のよさにふれさせる。 説明する (比較する) 	<p>[手だて]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 導入段階で参考演奏を聴かせて自分たちの演奏を振り返らせ、めあてと見通しをもたせるようにする。 聴き取る (比較する) ○ 歌詞と情景画を提示し、生徒に似たような経験を想起させ、曲想に合った歌い方を工夫することで、日本の歌のよさに味わい深くふれさせる。 協議する (関連付ける)

7 共通指導計画（小学2年…2時間 中学1年…2時間）

	主な学習活動・内容は主な振り返り場面	言語活動に関する手だて等	主な評価規準
課題把握・見通し 追究・確かめ まとめ	<p>小学1年「きらきらぼし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の歌声や友達の歌声を聴き、友達と一緒に歌うことを楽しんでいる。 ○ 歌詞の表す様子を想像したり曲の気分を感じ取ったりして、歌い方を工夫することができる。 ○ 自分の歌声に気を付けながらいねいに歌うことができる。 		
	<p>小学2年「夕やけこやけ」</p> <p>ようすをおもいうかべながらうたおう</p> <ol style="list-style-type: none"> 夕焼けの話をして、学習のめあてをつかむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・夕焼けにまつわる感動や経験の想起 ようすを思いうかべ、フレーズのまとまりに気を付けて歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・1番:きれいな夕やけの表現 ・2番:雄大な自然の表現 <p>振り返り 情報交換する (比較する)</p> 1番と2番の歌い方の違いを工夫する。(本時) <ul style="list-style-type: none"> ・1番:満足して家に帰っている様子の表現 ・2番:月明かりが優しく静かな様子の表現 <p>振り返り 説明する (比較する) 記録する (整理する)</p> 歌って曲を練り上げる。 <ul style="list-style-type: none"> ・拡大楽譜の書き込みと表現の一致 ・斉唱としてのまとまり 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活経験と結び付けながら夕焼けの話をさせる。 ○ 夕焼けの様子を思い浮かべて歌わせるために情景画を提示し、どのように歌いたいか考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・きれいな夕焼け→きれいな歌声 ・雄大な自然→伸びのある声・フレーズ感 ○ 歌い比べたり聴き比べたりさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・1番の歌い方→声の大きさ ・2番の歌い方→速さ・優しさ ○ 拡大楽譜に工夫を書き込む。 ○ 歌い手と聴き手に分かかれ、拡大楽譜に書き込んだ歌い方で表現する。 ○ めあてに沿って、学習前と学習後の歌い方の変化を聴き比べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の経験と結びつけ夕焼けの話をしようとする。 ○ 伴奏に合わせ、フレーズのまとまりを意識して、のびのある歌声で歌うことができる。 ○ 歌い比べたり聴き比べたりして、様子が表れるような歌い方を工夫できる。 ○ 拡大楽譜の書き込みをみて伴奏やみんなの歌声にあわせ表現できる。 ○ 聴き比べて、違いを感じ取り、表現の面白さや楽しさを味わうことができる。
	<p>小学3年 ようすを思いうかべて歌おう「ふじ山」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 旋律の特徴をとらえ、それらを生かしながら、楽しく伸び伸びと歌おうとしている。 ○ 歌詞の表す様子を想像し、旋律の動きに合わせて強弱や唱法を工夫することができる。 ○ 発音やブレスに気を付け、強弱や唱法を工夫して歌うことができる。 		
	<p>小学6年 日本の音楽に親しもう「われは海の子」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の美しい情景を表した歌に興味をもって、進んで聴いたり表現しようとしたりする。 ○ 旋律の特徴や歌詞から曲想を感じ取って、歌い方を工夫する。 ○ 歌詞の内容にふさわしい発音に気を付けるとともに、曲想に合う自然な歌い方で歌うことができる。 		

	主な学習活動・内容は主な振り返り場面	言語活動に関する手だて等	主な評価規準
課題把握・見通し	<p>中学1年「赤とんぼ」</p> <p>日本の歌に親しもう 情景を思い浮かべて歌おう</p> <p>1 「赤とんぼ」の歌詞を朗読し、写真や挿絵をもとに歌詞の表す情景や作者の気持ちについてイメージをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼少の頃や懐かしい景色を見た時の経験や感動の想起 <p>導入 協議する (関連付ける)</p> <p>2 正しい発声や音程, 発音で歌えるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音域に適した発声法 ・ 跳躍進行の音程の取り方 ・ 日本語のアクセントを生かした発語 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歌詞の表す情景がイメージしやすい写真や挿絵等を提示する。 ○ 歌詞の表す世界について説明を加え理解させる。 ○ 自分の経験と結びつけながら想像させる。 ○ 縦書きの歌詞や拡大楽譜を用意して, 旋律や強弱記号と, 日本語のアクセントやリズムとの関わりに着目させる。 ○ 曲想の表現の工夫がされた参考演奏を聴かせ, 工夫の視点を絞らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歌詞の表す情景や心情を歌詞や資料から想像しようとする。 ○ 無理のない発声, 正しい音程や日本語の発音に注意して歌うことができる。
追究・確かめ	<p>3 参考演奏を聴いて自分達の演奏を振り返る。(本時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 強弱の工夫 ・ テンポの揺れ ・ 語感を生かした歌い方 <p>聴き取る (比較する)</p> <p>4 自分たちが歌詞から想像した情景や気持ちを, 聴く人に伝えるための表現の仕方を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フレーズを意識した歌い方 ・ 余韻を残す歌い方 <p>協議する (関連付ける)</p> <p>5 お互いの表現の工夫を聴き合い, 表現のよさについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽譜や歌詞と表現の工夫を関連付けた説明の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動の目的や手順, 説明の仕方を明確にし, 掲示する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小グループで話し合い, 表現の工夫について自分の意見をもつこと ・ 表現の工夫を考える際, 「この部分は～という歌詞から～な様子や気持ちを思い浮かべたので～歌う。」と説明ができるように考えること ○ 発表の説明の方法や, 鑑賞するポイントをはっきり指示することで, 表現の工夫とその効果に焦点をあて聴くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歌詞から想像した情景や気持ちを伝えるために, 表現の仕方や言葉の歌い方を音楽の諸要素を考えながら工夫する。
まとめ	<p>6 学習を振り返り, まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分なりにこの曲の表現についての考えをもつこと <p>記録する (整理する)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○ 表現を工夫することの楽しさを感じ取ることができる。
	<p>中学2年 詩と旋律の流れ「夏の思い出」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歌詞の情景や曲想を味わい, 表情豊かに歌おうとする。 ○ 歌詞から受ける情景を感じ取り, 自分たちの思いをもって表現する。 ○ 歌曲のもつ美しさを表現するために, 正しい発声で言葉の表現を工夫して歌うことができる。 		

8 小学校第2学年 組本時の指導について

(1) 本時 (2/2) 第2音楽室

(2) 本時の目標

- 歌詞の表す情景や気持ちの変化を想像し、唱法や速さなどを工夫して歌うことができる。
- 情景画や歌詞や教師による範唱を1番と2番で比較し、情景や気持ちの変化がわかる歌い方を追究していくことを通して、情景と歌唱表現とを関連付ける力を身に付けることができる。

(3) 本時の展開

主な学習活動・内容	指導上の留意点 <small>□は言語活動を活性化させる手だて</small>	評価規準
<p>1 前時の学習を思い出し、学習のめあてをつかむ。</p> <p>(1) どんな歌か、情景画をもとに話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1番と2番の雰囲気の違い <p>(2) 学習のめあてをつかむ。</p> <p>めあて 1ばんと2ばんのちがいがわかるように、うたいかたをくふうしよう。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>○ イメージのふくらむような情景画と、それに関連付けできるような拡大歌詞を掲示する。</p> </div>	
<p>2 1番と2番の歌い方の違いを工夫する。</p> <p>(1) 歌詞の違いから歌い方の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌詞と関連付けた唱法(唱法・速さ) <p>(2) 満足して家に帰っている1番の歌い方を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 声の大きさ・明るさ(笑い声) ・ 2拍子(手をつなぎ歩く) ・ 四分音符の付点(スキップ) <p style="text-align: center;">説明する(比較する)</p> <p>(3) 月明かりがやさしく静かな2番の歌い方を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ レガート(優しい月明かり) ・ ゆっくり(小鳥の夢) ・ rit.の終わり(静かな夜) <p style="text-align: center;">説明する(比較する)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>○ 歌詞と情景画からお寺の鐘や鳥の鳴き声や子ども達の笑い声など聞こえる1番と、まるいお月様や夢見る小鳥や空に輝くお星様など静かな2番との違いに気付かせる。</p> </div> <p>○ 人物の話や動作をまねて気持ちを想像し、唱法と速さの違いで表現するとよいことに気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>○ 唱法と速さに変化をつけて歌い、聴き比べさせる。</p> </div> <p>○ 拡大楽譜に工夫を書き込み、学習の足跡を残す。</p>	<p>○ 歌い比べたり聴き比べたりすることを通して、曲を歌詞や生活経験とつなぎ、歌い方の工夫と関連付けることができる。</p> <p>(様相・発表内容)</p>
<p>3 みんなで歌って曲を仕上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 拡大楽譜と表現の一致 ・ 斉唱としてのまとまり <p>4 本時学習を振り返りまとめる。</p> <p>(1) 学習を振り返る。</p> <p>(2) 「今日の学習で」分かったことをまとめる。</p> <p style="text-align: center;">要約する(関連付ける)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>声の出しかたや曲のはやさに気を付けて歌うと、1番と2番でちがったようすの歌になることがわかりました。くふうできていると思います。</p> </div>	<p>○ 拡大楽譜に書き込んだ歌い方で表現できるように、斉唱の途中で、教師が次に気を付ける必要のある書き込みに着目させながら、歌いすすめていけるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○ 拡大楽譜・情景画・縦書きの歌詞をもとに、今日の学習を振り返る。</p> </div>	<p>○ 拡大楽譜の書き込みをもとに歌の聴き取りをすることを通して、「今日の学習」を振り返ることができる。</p> <p>(様相・発表内容)</p>

9 中学校第1学年 組本時の指導について

(1) 本時 (2/2) 第3音楽室

(2) 本時の目標

- 歌詞のもつ語感、リズムや抑揚をもとに曲想を感じ取り、自分たちの表現に生かすことができる。
- 工夫の観点に沿って参考演奏と自分たちの演奏の聴き取りを通して、それぞれの表現のよさを比較する力を身に付けることができる。

(3) 本時の展開

主な学習活動・内容	指導上の留意点 <small>□は言語活動を活性化させる手だて</small>	評価規準
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <p>(1) どんな情景を歌った歌かを想起し、「赤とんぼ」を斉唱する。</p> <p>(2) 参考演奏を鑑賞し、自分たちの表現と聴き比べ、本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強弱の工夫 ・テンポの揺れ ・語感を生かした歌い方 <p style="text-align: center;">聴き取る (比較する)</p>	<p>○ 縦書きの歌詞や掲示資料を提示しておき、歌詞の情景を想起させる。</p> <p>○ テンポや強弱、言葉の発音に工夫をされている参考演奏を紹介することで課題を焦点化する。</p>	<p>○ 参考演奏を熱心に聴き、自分達の演奏を振り返ることを通して、よりよい演奏につなげることができる。</p> <p>(様相・発表内容)</p>
<p>参考演奏では、4番の最後の部分の「よ」をはっきり歌ってそのあとだんだんゆっくり弱くするというように、発音やテンポ、強弱を工夫して歌っていた。それは演奏者が、懐かしい気持ちをこめているからだと思う。自分たちも聴く人に気持ちを伝えるために曲想や発音に気を付けて歌いたい。</p>		
<p>めあて 歌詞の表す内容や気持ちが聴く人に伝わるように歌い方の工夫をしよう。</p>		
<p>2 1～4番のうち自分の気持ちを込めたい部分の歌詞を選び、グループに分かれて話し合い、歌い方を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレーズを意識した歌い方 ・余韻を残す歌い方 <p style="text-align: center;">協議する (関連付ける)</p> <p>3 グループごとに発表する。</p> <p>(1) 話し合った工夫を説明してから演奏する。</p> <p>(2) それぞれのグループの演奏について感想を書き、発表する。</p> <p style="text-align: center;">記録する (整理する)</p>	<p>○ 少人数のグループで考え、ワークシートに記入した工夫を生かし表現を練り上げる。</p> <p>○ 歌い方の工夫について説明できるように「工夫の仕方」の掲示物を貼る。</p> <p>○ 机間指導を行い、表現の工夫についての様子を観察する。</p> <p>○ 発表の前に発表の仕方について確認する。</p> <p>○ 聴く時は「どんな工夫をしていたか」、「演奏を聴いてどんな気持ちが伝わったか」についてワークシートに記入、発表するよう指示する。</p>	<p>○ グループで歌詞の内容と気持ちに着目し協議することを通して、歌い方を分析することができる。</p> <p>(ワークシート)</p>
<p>4 本時の学習を振り返り、まとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌い方の工夫 	<p>○ 曲想や言葉の語感を感じ取り表現を工夫したことで、より情景を豊かにイメージし感情を込めて歌うことができたかワークシートに記入させる。</p>	<p>○ 表現を工夫することの楽しさを感じ取ることができる。</p> <p>(ワークシート)</p>

10 小学校第2学年 組板書計画

<p>ようすを思いうかべながらうたおう「夕やけこやけ」</p> <p>どんなうたかな</p> <p>きれいな夕やけのうた 楽しいあそびがすんでかえるうた</p>		<p>めあて</p> <p>1番と2番のちがいがわかるようにうたいかたをくふうしよう。</p>	<p>1番 拡大楽譜</p>
<p>1番の情景画</p>	<p>拡大歌詞 1番</p> <p>楽しそう にぎやか おしゃべり</p>	<p>あるくはやさ にっこりの口 はずんだかんじ (お手つないで)</p>	
<p>月や星が空でしずかにかがやく夜のうた</p>			<p>2番 拡大楽譜</p>
<p>2番の情景画</p>	<p>拡大歌詞 2番</p> <p>やさしい しずかに 楽しいゆめ</p>	<p>なめらか さいごゆっくり</p>	
			<p>今日の学習</p> <p>はやさ つよさ うたい方 くふうの しかた</p>

11 中学校第1学年 組板書計画

<p>日本の歌に親しもう 「赤とんぼ」</p> <p>日本の美しい風景とともに自分の懐かしい経験を 思い出す歌</p> <p>めあて</p> <p>「歌詞の表す内容や気持ちが聴く人に伝わるように 歌い方の工夫をしよう。」</p>		<p>拡大楽譜</p>
<p>工夫の仕方</p> <p>「～なイメージや～な気持ちを伝えるためにこの部 分を～に歌う。」と説明できるようにしよう。</p>	<p>縦書き歌詞</p>	
<p>挿絵</p>		<p>挿絵</p>